

奈良県スポーツイノベーション推進本部

第1回検討部会 次 第

1 日 時 令和7年2月12日（水）13：30 ～

2 会 場 奈良県庁 情報管理棟 西第1会議室

3 次 第

(1) 開 会

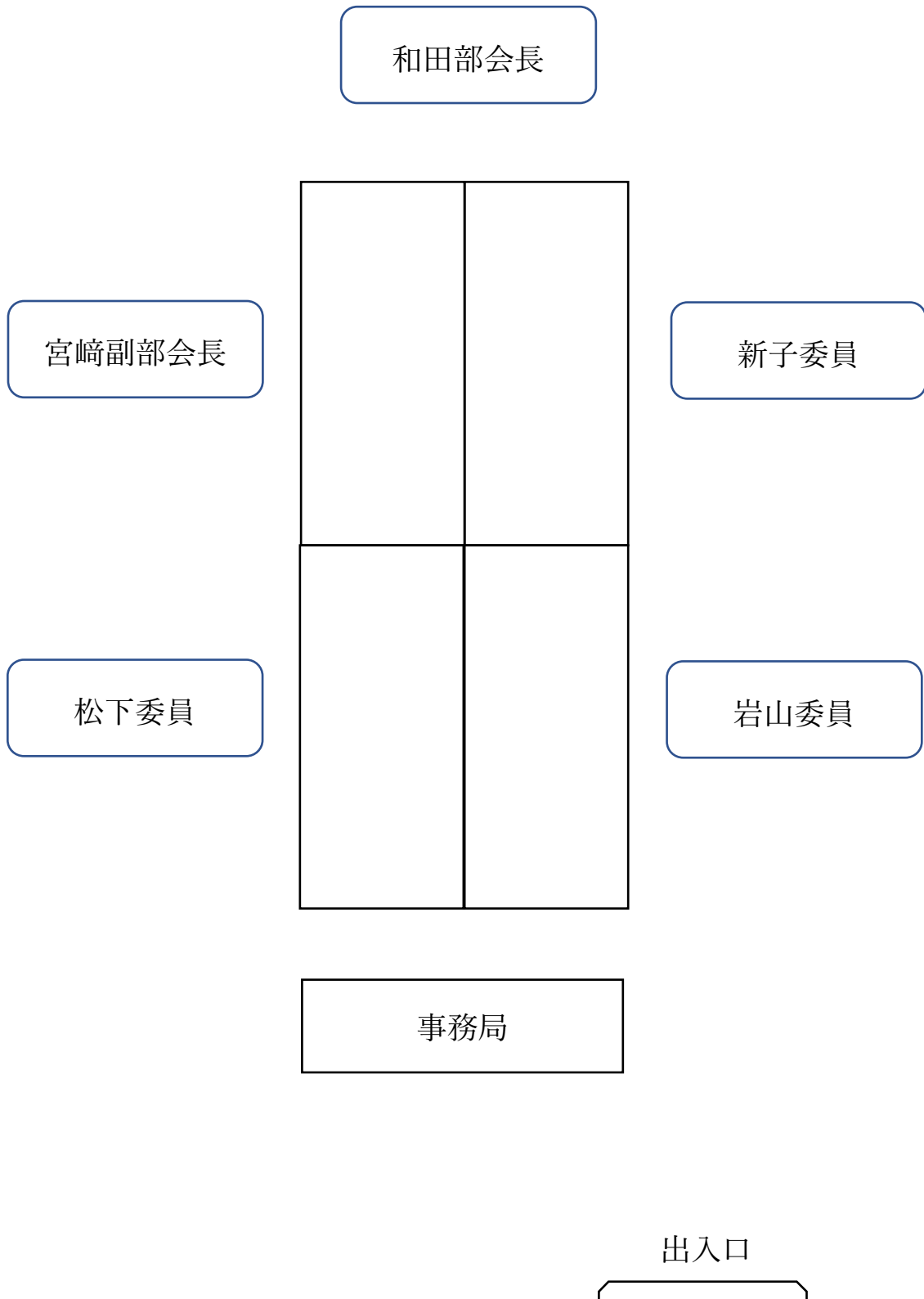
挨拶 奈良県スポーツイノベーション推進本部部長
((公財)奈良県スポーツ協会事務局長)

(2) 議 事

第1号議案 奈良県スポーツイノベーション推進計画素案の検討

(3) 閉 会

奈良県スポーツイノベーション推進本部 検討部会
配席図



奈良県スポーツイノベーション推進本部 検討部会部会委員名簿

	役職	分野	所属機関・団体役職	氏名
1	部会長	スポーツ団体	(公財)奈良県スポーツ協会事務局長	和田 俊廣
2	副部会長	行政	奈良県地域創造部スポーツ振興課長	宮崎 聖
3	部会委員	教育	奈良県教育委員会事務局体育健康課長	新子 泰夫
4	部会委員	有識者	奈良県スポーツ政策アドバイザー	松下 直樹
5	部会委員	有識者	天理大学体育学部准教授	岩山 海渡

奈良県スポーツイノベーション推進計画（素案）

【計画の定義】

本計画は、産学官が連携する「奈良県スポーツイノベーション推進本部」において、令和13年度（2031年）に奈良県で開催する国民スポーツ大会を契機に、その先を見据えた持続性のある競技力の底上げを推進することを目標として、「第2期奈良県スポーツ推進計画」も踏まえながら、その具体化に向けたロードマップを示すために策定する。

ロードマップに基づく目標達成に向けた取組を進めることで、県勢の活躍やスポーツ機運の醸成を促進させ、多くの県民やアスリート等の「生活と心の豊かさ(Well-being)」を増進させるだけでなく、本県の未来を支える子どもたちのスポーツに対する興味や意欲を高めるなど「持続可能で活力ある地域社会の実現」を目指す。

【計画期間】

国民スポーツ大会の奈良県開催年である令和13年度（2031）まで

【取組方針】

I 体制強化

- 奈良県スポーツイノベーション推進本部と各競技団体が互いに協力し、競技力の向上に関する取組体制を強化する。
- 産学官の各分野からも、それぞれの強みを活かしながら、協働して競技力の向上における体制構築を支援する。

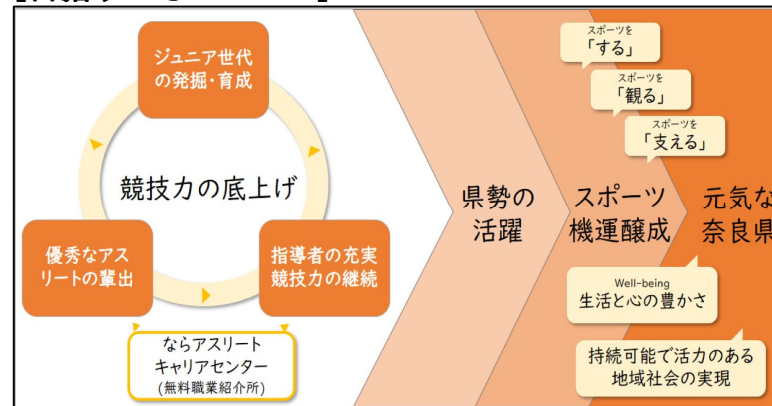
II 選手の発掘育成 / 指導体制の確立

- 将来のスポーツ人材の要となる「ジュニア世代」の発掘・育成を促進しながら、体験会等を通じてマイナー競技も含めた競技の普及啓発に力を入れて総合的に取組を進める。
- 各競技団体を中心として、指導力強化のため有望指導者の養成支援、優秀指導者の招聘支援等の取組を促進する。
- 合宿・遠征等の選手強化の諸活動に対し重点的に支援する。

III 環境整備

- 競技に要する特殊用具等の整備支援を継続的に行うことで、切れ目のない競技環境の構築を支援する。
- アスリートが安心して県内で競技を続けられる環境(就職支援、医科学支援、女性の課題支援 等)を産学官と連携しながら着実に構築していく。

【目指すべきビジョン】



【ロードマップ】

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	開催 以降
開催まで	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年	1年後
方針(視点) \ 区分	育成期		充実期			躍進期		継続期
強化体制	競技力向上推進本部の運営・産学官一体支援							
	競技団体のマネジメント力の強化 会場地市町村の競技拠点化							
選手の発掘育成	目標・事業評価							
	競技団体による強化計画の策定・個別ヒアリング等による分析及び支援							
指導体制の確立	県民の運動習慣等形成支援							
	子どもをはぐくむ運動推進活動							
	未来のトップアスリート発掘育成 競技団体と協働した強化活動 子ども向けの競技普及活動							
環境整備	アスリート県内定着推進(アスリート及び指導者と県内企業との就業マッチング) 指導者の資格取得支援							
	一貫指導体制の確保 各年代の強化担当スタッフの連携強化							
支援体制の充実	選手強化体制の充実							
	競技団体向けアスリート活動支援(指定選手・チームの強化) 優秀な指導者等の招聘支援等(合宿等への一流指導者の招聘等)							
	競技環境の整備 競技用具等の整備に対する支援							
環境整備	アスリート県内定着推進(アスリートと県内企業との就業マッチング)【再掲】 女性アスリートの競技継続支援・医科学プログラムの活用 等							
	情報発信の強化							

奈良県スポーツイノベーション推進計画（素案）

（具体的な取組内容）

I 体制強化

（1）体制の強化・充実

①奈良県スポーツイノベーション推進本部の運営・産学官一体支援

【推進体制の維持・運営体制の最適化】

奈良県スポーツイノベーション推進本部委員会、検討部会、個別勉強会等の各会議を運営し、各施策及び強化対策事業の企画・立案・進捗管理等を行います。

本推進計画の進捗状況・成果・課題等に基づき、より実践的な計画に資するため適切なタイミングで見直しを行います。

【産学官連携・協働の推進】

各施策の企画・立案・展開等においては、奈良県スポーツイノベーション推進本部の理念である産学官連携を念頭に置き、企業が持つノウハウや大学等が持つ専門知識をうまく活用することで、より効率的で効果的な事業展開に努めます。

②競技団体のマネジメント力の強化

【競技団体との個別ヒアリングの実施】

奈良県スポーツ協会と協働で、各競技団体に対して国スポ成績等を踏まえた将来を見据えたアスリート強化策等を確認し、当該実施体制に対してアドバイスやフォローアップを行い、各競技団体の組織的なマネジメント力の構築を支援します。

【専門スポーツ指導員の配置】

自身がトップアスリートである専門スポーツ指導員を奈良県スポーツ協会に配置し、県内学校等への指導を通じて競技力の底上げに取り組むだけでなく、各競技団体のフォローアップによる組織強化や指導体制の充実を図ります。

③会場地市町村の競技拠点化

【競技開催市町村における機運醸成】

国スポ競技会場の市町村が、競技団体と協働して国スポの機運醸成のために地域住民向けに取り組む競技体験会等に対して支援し、競技PRの機会を増やすだけでなく、競技への理解度を高めることで当該地域の競技拠点化に繋がります。

（2）目標・事業評価

①競技団体による強化計画の策定・個別ヒアリング等による分析及び支援

【強化事業の検証・個別ヒアリング】

奈良県スポーツ協会と協働し、各競技団体等が行う強化事業の現地調査及び各競技団体の個別ヒアリングを実施し、国民スポーツ大会等に向けた強化対策事業の進捗状況や課題を把握します。

奈良県スポーツイノベーション推進計画（素案）

（具体的な取組内容）

Ⅱ 選手の発掘育成／指導体制の確立 ①

（1）運動のきっかけ創出[選手の発掘育成]

①県民の運動習慣等形成支援

【運動のきっかけ創出事業の実施】

県民全体のスポーツマインド向上に資するため、運動習慣のない人や運動に興味のない人（無関心層）に対して、ショッピングモール等の人通りの多い場所等を活用し、誰でも参加できる体力チェックイベント等によって、運動を始める動機付けを誘発させ、無関心層から関心層への転換を図ります。

【身近な運動普及啓発事業の実施】

県民全体のスポーツマインド向上に資するため、主に高齢者等が運動等の活動を阻害されやすい過疎地域（地域性・人口動態等）に対してスポーツ指導ができる講師を派遣し、市町村が主体となって住民向けの運動教室等を開催することで、住民に対して運動を始める動機付けを誘発させ、地域での取組の定着化と運動習慣の形成を図ります。

②子どもをはぐくむ運動推進活動

【子どもをはぐくむ運動推進事業の実施】

親子で参加できる運動能力測定会、簡単なスポーツの体験イベント等の実施を通じ、主に就学前の子どもが体を動かすことに親しみを覚えられる取組を推進することで、幼少期からの運動習慣の形成や体力向上を図ります。

また、講習会の開催等を通じて、子どもの主要な支援者側である保護者や指導者のフィジカルリテラシーを向上させることで、幼少期からの運動習慣の形成や体力向上の更なる促進を図ります。

（2）選手の発掘育成・競技普及[選手の発掘育成]

①未来のトップアスリート発掘育成事業

【未来のトップアスリート発掘育成事業の実施】

ゴールデンエイジとされる小学3年生～小学6年生を対象に運動能力を測定（スポーツ能力測定会）し、運動能力の高い子どもたちを育成対象者として選抜します。

選抜者に対しては、コーディネーショントレーニング等の育成プログラムを実施し、未来の奈良県を担う選手の育成に繋げるだけでなく、個人の能力や特性にマッチする競技種目の紹介に取り組みます。

【プレ育成プログラム事業の実施】

前年度に選抜された育成対象者に対して、次年度に実施される本育成プログラム開始前に、プレ育成プログラムを実施することで、当該事業に対する子どもたちと保護者のモチベーションアップと取組への理解促進を目指します。

奈良県スポーツイノベーション推進計画（素案）

（具体的な取組内容）

II 選手の発掘育成／指導体制の確立 ②

②競技団体と協働した強化活動

【県民スポーツ大会の開催】

奈良県スポーツ協会と共催で「県民スポーツ大会」を実施し、幅広く県民にスポーツの楽しさや喜びを体験する機会を提供します。

【トップアスリートとの競技体験会の実施】

各競技団体の強みを活かして各界を代表するトップアスリートを招聘し、既に競技に取り組む子どもたちに対して、競技クリニック等のトップアスリートとふれあうことができる取組を実施し、競技に対する姿勢や考え方などの造詣を深めてもらい、将来の奈良県を背負う選手の育成と強化に繋がります。

③子ども向けの競技普及活動

【子どもスポーツフェスティバルの開催】

各競技団体と連携し、スポーツを行っていない子どもを中心に、競技人口が少ない競技を含めた様々な競技が体験できる機会を設け、スポーツの楽しさや競技の面白さ等を実感してもらい、競技普及及び競技人口のすそ野拡大を目指します。

（3）指導者の確保・養成・資質向上[指導体制の確立]

①アスリート県内定着推進（アスリート及び指導者と県内企業との就職マッチング）

【ならアスリートキャリアセンターの運用】

全国及び国際大会等において活躍が期待できるアスリート及び指導者が、県内で競技を継続できる労働環境を整えることで、奈良県への愛着を高め、競技力の底上げにも繋がります。

アスリート等の採用を受け入れる企業や事業所の開拓を進めるとともに、各競技団体等と連携し、県内で働きたい希望を持つアスリート等の情報集約に努めます。

アスリート等の県内企業への就職を支援するため、無料職業紹介所「ならアスリートキャリアセンター」を設置し、専門のアスリートキャリアアドバイザーによるアスリート等と県内企業とのマッチングを行います。

②指導者の資格取得支援

【エリートコーチの育成強化】

国スポ等を見据えた継続的な指導者の確保のため、公益財団法人日本スポーツ協会指定の競技種目別指導者資格等、国スポ監督・コーチの基準に基づいた資格取得に要する講座の受講を促進します。

奈良県スポーツイノベーション推進計画（素案）

（具体的な取組内容）

Ⅱ 選手の発掘育成／指導体制の確立 ③

（４）一貫指導体制の確保【指導体制の確立】

①各年代の強化担当スタッフの連携強化

【エリートコーチの育成強化〔再掲〕】

国スポ大会奈良県開催に向けて指導者の若返りが急務となっており、総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団等所属の者の監督・コーチの資格の獲得が可能となったことから、各年代の強化担当スタッフ間の連携等も踏まえながら有資格者数の底上げを図ります。

（５）選手強化体制の充実【指導体制の確立】

①競技団体向けアスリート活動支援（指定選手・チームの強化）

【指定選手（チーム）の強化】

奈良県スポーツ協会を通じて、各競技団体が実施する県外遠征、県内合宿、日帰り練習等に対する補助を行い、効率的・効果的な競技力の底上げに繋がります。

【合宿プログラムの充実】

奈良県スポーツ協会を通じて、各競技団体が合宿時に医科学・栄養学等の専門家を招聘して行う講習会や勉強会に対して補助することで、効率的・効果的な競技力の底上げに繋がります。

②優秀な指導者等の招請支援等（合宿等への一流指導者の招請等）

【優秀な指導者及びホームタウントップアスリート等の活用・招聘支援】

奈良県スポーツ協会を通じて、各競技団体が全国的に優秀な指導者や審判員、県出身アスリート等を県内合宿へ招聘する取組に対して補助を行い、効率的・効果的な競技力の底上げに繋がります。

【中学校・高等学校運動部活動の指導者強化】

各競技団体が全国的に優秀な指導者や審判員、県出身アスリート等の優秀な指導者を招き、部活動指導者に対して指導スキル講習を実施することに対して補助を行い、中学・高校の指導者の指導力強化を図ります。

奈良県スポーツイノベーション推進計画（素案）

（具体的な取組内容）

Ⅲ 環境整備

（１）競技環境の整備

①競技用具等の整備に対する支援

【特殊競技用具の整備・充実に対する支援】

国スポ正式競技で使用する用具において、レギュレーション変更等による大規模な更新や、競技力の底上げへ直接的につながる特殊競技用具の整備等に関して、優先的に整備・充実を図ります。

（２）支援体制の充実

①アスリート県内定着推進（アスリートと県内企業の就業マッチング）〔再掲〕

【ならアスリートキャリアセンターの運営〔再掲〕】

②女性アスリートの競技継続支援・医科学プログラムの活用 等

【女性アスリートの競技継続に関する検討】

女性アスリートが健康にスポーツを継続できる環境を整えるため、スポーツ庁の取組動向等を参考としながら、女性が抱える健康課題等を理解する取組や、医・科学サポート等を活用した支援プログラムの活用等を検討します。
また、女性の視点とアスリートとしての高い技術・経験を兼ね備えた女性コーチ育成に向けた取組を検討します。

【医科学プログラムを活用したサポート体制の構築に関する検討】

奈良県スポーツ協会と連携し、スポーツ医・科学研究会の開催やスポーツ医・科学に基づいた指導者研修会を通じて、スポーツドクターやアスレティックトレーナー等の養成を支援します。

スポーツ検診やメディカルチェック等を活用し、効率的・効果的な競技力の底上げを図ります。

また、アスレティックトレーナー育成においては、一般社団法人奈良県アスレティックトレーナー協会と協働し、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成カリキュラムに準じたトレーナー養成カリキュラムに基づき、奈良県独自の「奈良県スポーツ協会公認アスレティックトレーナー」の養成を進めることでサポート体制を充実させます。

③情報発信の強化

【奈良県スポーツイノベーション推進本部事業の情報発信】

県民の理解を深めるため、推進本部の運営状況や各種事業の実施状況等をホームページへ掲載して情報発信に努めます。

〈スポーツイノベーション推進本部における取組〉

2031年に奈良県で開催される第85回国民スポーツ大会を契機としたスポーツイノベーション(※)を推進するため、奈良県スポーツイノベーション推進本部を設置し、アスリート及び指導者の人材育成等に資する各種取組を実施。

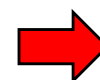
(※)スポーツの持つ力を活用し、これまでとは一線を画す、奈良県のスポーツのあり方を変えるという想いを込め、
革新”や“改革”を意味するイノベーションを用いた造語。

(千円)

事業名	R6予算
01 推進本部運営費	1,370
02 競技団体向けアスリート活動支援事業	84,322
03 未来のトップアスリート発掘育成事業	8,978
04 アスリート県内定着プログラム推進事業	3,206
05 県民スポーツ大会開催事業	2,900
06 競技開催市町村機運醸成事業	3,000
07 運動のきっかけ創出事業	1,500
08 身近な運動普及啓発事業	840
09 (新) プレ育成プログラム事業	R7 新規
10 (新) トップアスリートとの競技体験会実施事業	
11 (新) こどもをはぐくむ運動推進事業	
12 (新) こどもスポーツフェスティバル開催事業	
13 (新) スポーツコミッション勉強会実施事業	
合計	106,116

R7年度向け新規事業に対する考え方

- ・次世代を担うこどもを主眼に置き、重点的に事業を推進。
- ・協働で事業に取り組むことで、県と各競技団体間の連携力を強化。



目指すべき成果

- ・一過性に終わらない将来性を見据えた組織・体制づくり。

＜01 推進本部運営費＞

R6予算 1,370千円

「奈良県スポーツイノベーション推進本部」の事務局運営及び部会運営を実施。

本部委員会 委員名簿

(R6.4.17設立時点)

役職	分野	所属機関・団体役職	氏名
本部長	行政	奈良県知事	山下 真
副本部長	スポーツ団体	(公財)奈良県スポーツ協会会長	池田 誠也
副本部長	教育	奈良県教育長	大石 健一
委員	有識者	奈良県スポーツ推進審議会会長	原田 宗彦
委員	アスリート	県関係オリンピック (リオ五輪ノバドミントン女子ダブルス金メダリスト)	高橋 礼華
委員	プロスポーツ	株式会社バンビヤス奈良 代表取締役	加藤 真治
委員		株式会社奈良クラブ 代表取締役社長	濱田 満
委員	企業スポーツ	スポーツチームを持つ県内企業代表者 (佐藤薬品工業株式会社 代表取締役社長)	佐藤 雅大
委員	市町村	奈良県市長会会長(生駒市長)	小紫 雅史
委員		奈良県町村会会長(安堵町長)	西本 安博
委員	学校	天理大学体育学部長	中谷 敏昭
委員		奈良県高等学校体育連盟会長	稲葉 功
委員		奈良県中学校体育連盟会長	長谷 豊
委員		奈良県小学校体育研究会会長	片山 登志男
委員	経済界	奈良県商工会議所連合会会長	小山 新造
委員		奈良県商工会連合会会長	松塚 幾善
委員	議会	奈良県議会文教くらし委員会委員長	阪口 保
委員	医科学	奈良県立医科大学整形外科教授	田中 康仁
委員	行政	奈良県地域創造部長	毛利 嘉晃
監事	—	奈良県会計局長	畑澤 靖子
監事	—	大和信用金庫理事長	中村 正徳

検討部会 部会員名簿

(R6.4.17設立時点)

役職	分野	所属機関・団体役職	氏名
部会長	スポーツ団体	(公財)奈良県スポーツ協会事務局長	和田 俊廣
副部会長	行政	奈良県地域創造部スポーツ振興課長	宮崎 聖
部会員	教育	奈良県教育委員会事務局体育健康課長	新子 泰夫
部会員	有識者	奈良県スポーツ政策アドバイザー	松下 直樹
部会員	有識者	天理大学体育学部准教授	岩山 海渡

【設立】

令和6年4月17日

【運営体制】

・本部委員会と検討部会の2部構成。



【令和7年度 予定】

- ・総 会:年1回開催予定(4月予定)
- ・検討部会:年1回開催予定(下記の内容を検討予定)

【検討部会(議題案)】

- ・「女性アスリートの競技継続支援のあり方」について検討。
検討結果を次年度以降の事業化に繋げる。

【概要】

将来、国民スポーツ大会等で活躍が期待される県内アスリートの力を更に伸ばすため、各競技団体に育成支援、指導を行う（公財）奈良県スポーツ協会への事業補助を実施。

令和13年に奈良県で開催される国民スポーツ大会を契機として、競技力の持続的な向上を実現するべく、先催他県の取り組み等を参考にしながらアスリート、指導者双方への支援を実施。



◆競技団体の抱える課題点とポイント

- 団体HR等から、ジュニア選手の確保・強化、指導者の養成、合宿・遠征・強化練習会開催に課題。
→ **限られた予算において、全項目ではなく課題点に係る部分への支援を「重点化」して補助。**

◆補助対象

1 選手育成強化事業

アスリートの力をより伸ばすため、以下のメニューを実施

- ・競技団体へのコンディショニングサポート
- ・**指定選手（チーム）の強化**
- ・ホームタウントップアスリート等活用事業
- ・優秀な指導者等の招聘支援事業
- ・合宿プログラムの充実

<考え方>

- 大会遠征に係る経費への補助を増額し、直接的にチーム・選手の強化に繋げるように支援強化。

2 指導者育成強化事業

- ・スポーツ医学に基づいた指導者研修会等の開催
- ・**専門スポーツ指導員の配置**
- ・中高部活動の指導者強化
- ・パラアスリート及びパラ指導者の育成事業
- ・アスレティックトレーナー育成事業
- ・エリートコーチ育成強化事業

<考え方>

- （公財）奈良県スポーツ協会に籍を置きながら、競技力向上推進事業拡大に対応するだけでなく、競技団体の更なるフォローアップ人員の確保を強化。

3 練習環境整備事業

・練習器具、用具の整備支援

- 高額等の理由により用具等を整備することが困難な競技団体やレギュレーション変更で新たに用具等の整備を要する競技団体に対して、計画的に用具整備を支援。

【概要】

2031年に奈良県で開催される国スポ・全スポや、将来国際大会で活躍が期待できる、優れた素質を有するジュニアアスリートの発掘、個人の能力や特性にマッチする競技種目の紹介、育成をとおして、各競技種目の底上げ、すそ野拡大を図る。

令和6年度

スポーツ能力測定会

【概要】

最新の測定機器を用いて6つの測定種目から運動能力を測定。測定結果、長所や短所、向いているスポーツなどを個別に説明。また、競技団体の協力の下、ボッチャ、なぎなた、ウェイトリフティング、バドミントン、自転車競技の競技体験会を開催。

【日時場所】

令和6年7月31日(水)、8月1日(木) @ジェイテクトアリーナ奈良

【参加者】(総申込728名→当選560名)

スポーツ能力測定会509名／競技体験会のべ766名
(対象:幼稚園年長～中学3年及びその保護者)



育成プログラム

【概要】

令和5年度スポーツ能力測定会の結果から選抜された、優れた運動能力を持つ子どもたち69名に対して、レスリング、ソフトテニス、バドミントン、水球、アーティスティックスイミングの競技体験と、基礎的運動能力の向上を目指す育成トレーニングの運動プログラム全11回を実施。



令和7年度 予定

スポーツ能力測定会

【概要】

最新の測定機器を用いて6つの測定種目から運動能力測定し、運動能力の高い子どもたちを選抜する(令和8年度向け育成プログラム対象者)。
また、未普及競技を中心とした競技体験会を同時開催予定。

【参加予定者数】

①550名程度(対象:幼稚園年長～小学5年生)

【日時場所の予定】

令和7年7月31日(木)、8月1日(金) @ジェイテクトアリーナ奈良(予定)

育成プログラム

【概要】

令和6年度実施のスポーツ能力測定会の結果から選抜された、優れた運動能力を持つ子どもたち約60名と令和5年度実施のスポーツ能力測定会の結果から選抜された小学6年生25名に対して、カヌー、ソフトボール、器械体操などの競技体験と、基礎的運動能力の向上を目指す育成トレーニングの運動プログラムを年間12回実施予定。

競技体験会

カヌー:8月頃を予定 器械体操:11月頃を予定 ソフトボール:3月頃を予定

運動プログラム予定

場所	金魚スクエア
時間	9:30-11:30
日程	令和7年 ①4月26日(土) ②5月24日(土) ③6月21日(土) ④7月19日(土) ⑤8月23日(土) ⑥9月13日(土) ⑦10月11日(土) ⑧11月15日(土) ⑨12月13日(土) 令和8年 ⑩1月18日(土) ⑪2月8日(土) ⑫3月15日(土)

<04 アスリート県内定着プログラム推進事業>

R6予算 3,206千円

【概要】
 2031年に奈良県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会をはじめとして、全国及び国際大会等で活躍するアスリート等の県内企業への就職を支援する無料職業紹介所(アスリート版ハローワーク)「ならアスリートキャリアセンター」において、アスリートキャリアアドバイザー(大垣 知哉氏)を中心としてアスリート等と県内企業のマッチングを行う取組を進める。

【求人登録企業数】(令和7年1月6日時点)

- ・株式会社丸産業
- ・株式会社泉屋
- ・株式会社汎建製作所
- ・アスカ美装株式会社
- ・平川商事株式会社
- ・奈良ダイハツ株式会社
- ・社会福祉法人生和会
- ・株式会社クレー
- ・奈良交通株式会社
- ・昌和莫大小株式会社



<05 県民スポーツ大会開催事業>

R6予算 2,900千円

【概要】
 県と(公財)奈良スポーツ協会が共催する「県民スポーツ大会」の開催に対する補助。広く県民にスポーツの楽しさや喜びを体験する機会を提供し、心豊かな県民生活の実現を目指す。

令和6年度

【総合開会式】
 令和6年7月7日(日) 9:30~10:10 @奈良県産業会館

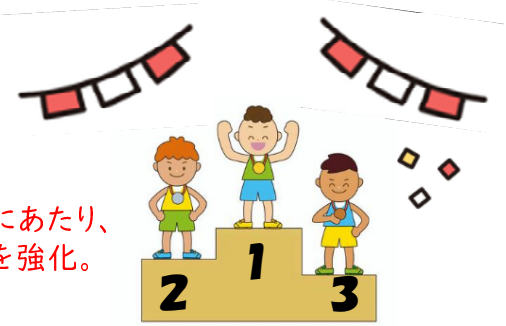


【県民スポーツ大会】
 令和6年4月~令和7年2月 @県内外スポーツ施設
 [1部:市郡村対抗競技の部]
 [2部:公開競技の部]
 [3部:レクリエーション競技の部]

令和7年度 予定

【総合開会式】
 令和7年7月6日(日) 予定

実施にあたり、
広報を強化。



【県民スポーツ大会】
 [1部:市郡村対抗競技の部・2部:公開競技の部]
 令和7年7月6日(日)・13日(日)を中心に開催予定
 [3部:スポーツレクリエーション競技の部]
 令和7年11月1日(土)・2日(日)を中心に開催予定

〈06 競技開催市町村機運醸成事業〉 R6予算 3,000千円

【概要】

国スポ競技会場地に選定された市町村において、市町村と競技団体が協力し、地域住民を対象とした競技体験イベント等を実施。会場地のスポーツ機運の醸成、競技への理解を深め、スポーツ人材の裾野を広げるきっかけを作る。

令和6年度

【概要】

2031年国民スポーツ大会を盛り上げよう!「講演会&バレーボール体験会」

- 講演会:柳本晶一氏による講演の実施
- バレーボール体験会:柳本晶一氏、山添信也氏による体験会の実施

【日時場所】

- 講演会:令和7年1月17日(土)@下市町観光文化センター
- 体験会:令和7年1月18日(日)@下市中央公園総合体育館

令和7年度 予定

【概要】

開催地におけるスポーツイベントの実施。
アスリートを招いたトークイベントや競技者向けクリニックの開催、
住民向けの体験会等を市町村が主体となり、3市町村程度で実施予定。

〈07 運動のきっかけ創出事業〉 R6予算 1,500千円

【概要】

健康長寿の奈良県の実現を目指すため、運動習慣のない人や運動に興味のない人をターゲットとして、運動を始めるきっかけ作りや運動の楽しさを啓発することで、運動習慣を持つ人の底上げを図るべく、ショッピングモール等の人通りの多い場所で通りがかった人が誰でも参加できる体力チェックイベントを開催。

令和6年度

【日時場所】

令和6年6月29日(土) @イオンモール橿原 スターライトコート
令和6年9月15日(日) @イオンモール高の原 平安コート

【参加者数】

イオンモール 橿原:278名
イオンモール高の原:400名



令和7年度 予定

【日時場所の予定】

令和7年6月頃と9月頃にイオンモール高の原等で実施予定。

〈08 身近な運動普及啓発事業〉

R6予算 840千円

【概要】

健康長寿の奈良県の実現を目指すため、運動習慣のない人や運動に興味のない人の運動を始めるきっかけ作りや運動の楽しさを啓発することで、運動習慣を持つ人の底上げを図ることを目的とし、運動教室を開催。

高齢者等が運動等を始める際に障害(参加者,場所等)となりやすい過疎地域を対象に市町村へ講師を派遣し、住民向けに運動教室を実施し、身近に実践できる運動・スポーツの楽しさを啓発する。

令和6年度

【日時場所】

令和6年 7月12日(金)@天川村・10月10日(木)@十津川村・10月21日(月)@黒滝村・
11月1日(金)@下北山村・11月13日(水)@御杖村・11月19日(火)@上北山村

令和7年度 予定

【日時場所の予定】

奈良県南部東部振興基本計画の対象とする19市町村のうち運動教室未実施の12市町村を中心に6月~11月に開催予定(5市町村程度)。



<新規要求事業一覧>

<09 プレ育成プログラム事業>

【概要】

令和7年度スポーツ能力測定会(7月31日、8月1日予定)の結果から選抜された、優れた運動能力を持つ子どもたち約60名に対して、次年度の本プログラム開始前に、モチベーションアップと基礎的運動能力向上のためプレ育成を2回実施。イノベーション推進本部メンバーである天理大学と連携して実施予定。

【日時場所の予定】

令和7年11月15日(土)、令和8年2月8日(土) @金魚スクエア

<10 トップアスリートとの競技体験会開催事業>

【概要】

令和13年に奈良県内で開催される国民スポーツ大会に向けて、競技団体と県が連携して、各クラブ等で競技に取り組んでいる子どもたちがトップアスリートとのふれあいを通じて、競技に対する姿勢や考えなどを学び、さらに高みを目指してもらい、将来の奈良県を背負う選手の育成につなげる。



【日時場所の予定】

令和7年12月頃・令和8年2月頃、
大和郡山市総合公園施設もしくは県立橿原公苑にて2回開催予定

<11 こどもをはぐくむ運動推進事業>

【概要】

親子で参加できる運動能力測定会や、簡単なスポーツの体験イベントを通じて、主に就学前の子どもが体を動かすことに親しみを覚えることで、運動習慣の形成や体力向上を図る。また、講習会を通じて保護者や指導者のフィジカルリテラシーを向上させ、さらなる子どもの運動の推進を図る。

【親子運動能力測定会 予定】

日時場所:令和8年1月24日(土) @金魚スクエア
参加者:年長以上のお子様とその保護者

【親子運動習慣形成講習会 予定】

日時場所:令和7年11月8日(土) @金魚スクエア
参加者:就学前の子どもと保護者 等



※令和6年度
親子スポーツ能力測定会の様子

<12 こどもスポーツフェスティバル>

【概要】

各競技団体と県が連携し、スポーツを行っていない子どもを中心に競技人口が少ない競技を含めた様々なスポーツを体験できる機会を設け、スポーツの楽しさや身体を動かす喜びを感じてもらい、スポーツを始めるきっかけづくりにする。また、事業を通じて競技人口を増やすとともに競技力向上事業につなげる。

【日程場所の予定】

令和7年10月25日(土)、令和8年1月24日(土) @大和郡山市総合公園施設

【競技の予定】

令和7年10月25日(土)
バドミントン・ハンドボール・卓球・ライフル・なぎなたなどの
屋内競技から4競技程度実施予定

令和8年1月24日(土)

テニス・ラグビー・サッカー・陸上などの屋外競技から4競技程度実施予定



<13 スポーツコミッション勉強会開催事業>

【概要】

奈良県の特色や魅力を活かしたスポーツツーリズムの展開、大会やイベント開催に伴う宿泊や交通、ボランティアスタッフ等の手配、合宿等の誘致など、スポーツ振興と地域経済活性化に向けた取組をコーディネートするスポーツコミッション設立に向けて、産官学民、観光、教育等の様々な分野との連携も視野に、構成組織・役割・活動内容の検討を進める。

【勉強会の実施】

スポーツコミッション活動のメインストリームである大会合宿誘致等で必須となる設備整備状況や国スポ準備状況等を見据えながら、設立時期や設立主体を慎重に協議するための勉強会を実施。
会議体としては、奈良県スポーツイノベーション推進本部委員を活用(各界代表が集まっているため)

【日時場所の予定】

令和7年7月、10月、令和8年1月で3回実施 @奈良コンベンションセンター

奈良県スポーツイノベーション推進本部検討部会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良県スポーツイノベーション推進本部（以下「推進本部」という。）規約第11条第5項の規定に基づき、検討部会（以下「部会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業)

第2条 推進本部からの付託事項及び委任事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 奈良県スポーツイノベーション推進計画（以下「推進計画」という。）に関する調査、審議及び決議をすること。
- (2) 推進計画に基づく競技力底上げに向けた事業実施に必要な調査、審議及び決議をすること。
- (3) その他推進本部の目的達成に必要な事業の調査、審議及び決議をすること。

(構成)

第3条 部会は、推進本部本部長（以下「本部長」という。）が委嘱した委員（以下「検討部会委員」という。）をもって組織する。

2 検討部会委員は、無報酬とする。

(役員)

第4条 部会に次の役員を置く。

- (1) 部会長 1名
- (2) 副部会長 若干名
- (3) 検討部会委員 若干名

(役員を選任)

第5条 部会長及び副部会長は、検討部会委員のうちから本部長が委嘱する。

- 2 部会長は、部会を代表し、会務を総理する。
- 3 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときは、副部会長がその職務を代理する。

(任期)

第6条 検討部会委員の任期は、推進本部規約第11条4のとおりとする。

(会議)

第7条 部会の会議は、必要に応じて部会長が招集し、部会長が議長となる。

- 2 部会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 3 部会は必要があるときは、検討部会委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(委任)

第8条 この規程に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、当該部会の部会長が会長の承認を得て別に定める。

附則

この規程は、令和6年4月17日から施行する。